

【近畿日本ツーリストカードのご案内】



近畿日本ツーリストカードは、全国の近畿日本ツーリストおよびKNTツーリストをはじめとする
世界2000万店以上の加盟店でショッピングやお食事などにご利用いただけます。

近畿日本ツーリストカードはワールドプレゼントのポイントがこんなにおトク！

- 近畿日本ツーリストおよび KNT ツーリストでホリディやメイトをはじめパッケージ旅行をご購入の場合、ご利用代金の合計 1,000 円(含む消費税)につき 3 ポイントたまります。
- 国内・海外のカード会社加盟店でご利用の場合、ご利用金額の合計 1,000 円(含む消費税)につき 1 ポイントたまります。
- たまったポイントは「ツーリスト旅行券」をはじめ、素敵な景品などに交換いただけます。
200 ポイントで 1,000 円相当の旅行券に交換できます。

たまったポイントは三井住友カードのホームページ「Vpass」でバラエティ豊かな景品との交換や他のポイントプログラムへの移行にもご利用いただけます。 <http://www.smbc-card.com>

旅行傷害保険

海外および国内でのご旅行中のアクシデントに備えて旅行傷害保険を付帯しております。

海外旅行傷害保険 ()内はクラシックカード
傷害死亡・後遺障害:最高 5000 万(2000 万)、 傷害治療:
最高 150 万(50 万)、 疾病治療:最高 150 万(50 万)、 携行品
損害:最高 30 万(15 万)、賠償責任:最高 3000 万(2000 万)、
救援者費用:最高 100 万(100 万)
国内旅行傷害保険 ()内はクラシックカード
傷害死亡・後遺障害:最高 5000 万(2000 万)

クラシックカードの国内保険は事前に旅費等をカードでお支払いいただくことが前提です

全国レジャー施設優待サービス

北海道から沖縄まで全国 600 箇所のレジャー・観光・休憩所・遊覧船・ゴルフ場などの施設の優待割引やオリジナルプレゼントなどの魅力ある得点が満載！ ご旅行がより一層お得にお楽しみいただけます。

Option

ロードサービスのご案内

所定の年会費に 525 円(含む消費税)をプラスすると、お車のトラブルやアクシデントが起きた時に、24 時間年中無休でロードアシスタントサービスが受けられます。
詳しくはホームページをご覧ください。

【新規入会の方】 初年度年会費無料！ **更に** 年間 5 万円以上お買い物をするれば 翌年度以降も年会費無料！

**更に！更に！
スペシャル特典**

この度、当カードに新規ご入会をされ、かつ第5回日本伝道会議への
当社企画旅行代金を当該カードにてお支払いいただいた全ての方へ、

新千歳空港駅～新札幌駅間(1700円相当)のJR乗車券往復分または1000円分の商品券

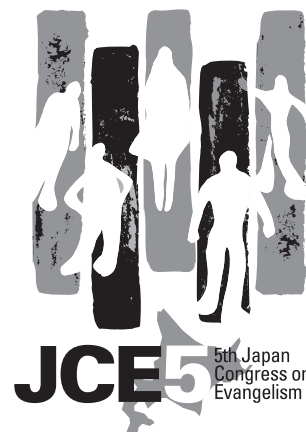
をプレゼントいたします！

【ご注意】 このスペシャル特典は次の条件を満たすことが前提です。

- ① 千葉教育旅行支店から送付されたカード入会申込書にて申込みをされた方に限ります。
- ② ご入会されたカード1枚につき1特典(1名分)となります。(まとめて数名分を支払った場合でも特典は1名分のみとなります)

詳しくは **knt!** 近畿日本ツーリスト

千葉教育旅行支店(TEL043-227-9401 担当:いなばやし)までお問合せください。
メールアドレス: inabayashi930271@mb.knt.co.jp



第5回日本伝道会議

プロジェクト・分科会・シンポジウム案内

- プロジェクトは 2 日間同じプロジェクトチームに参加。
- シンポジウムは分科会と並行して開催されるためいずれかを選択。

プロジェクト一覧表

9 月 22 日(火), 23 日(水)・午前

No.	プロジェクト名	リーダー	内容と目的
P1※	宣言文起草	岡山英雄	第五回日本伝道会議における宣言文を起草し、会議に提案する。
P2※	プロテスタント 宣教150年	山口陽一	2009年のプロテスタント宣教150年の意義を受け止め、宣教の歴史を回顧・検証し、そこから学ぶ宣教の方策を提言する。開催地北海道固有の問題をもあわせて取り上げる。
P3	日本文化と宣教	西岡義行	日本宣教が抱える課題・壁について、文化人類学的宣教学の視点から分析し、今後の課題克服のために宣教学的提言を行う。
P4	地方伝道	藤原導夫	地方伝道の現状と課題をどのようにとらえ、どのように克服するかを考える。また地方と都市部の教会の連携のあり方を模索する。
P5	地域的宣教協力	三川献児	各地の教会間協力のネットワーク、放送伝道を媒介とした地域のネットワーク、宣教懇談会などの取り組みを調査・評価し、宣教協力の助けとしての超教派活動の可能性を模索する。
P6	教会・教団間 協力	畑野順一	福祉、高齢化、心理ケア、その他各団体が行っている牧師のトータル・ケアの取り組みについて情報交換し、引退牧師の人材バンクなど、人材の積極的な活用と、今後の連携の可能性について模索する。さらに、教会建設における教団相互の協力の道を模索する。
P7	信徒伝道	玉井邦美	信徒の伝道参画の基礎となる教会論を確認し、教会内外においてすでに行われている伝道を目的とした信徒活動と教会が、今後どのように連携できるか、信徒活動が建設的な意味でどのように教会形成につながるかを考える。
P8	ディアスポラ 宣教協力	永井敏夫	各団体の海外宣教に関する諸問題と協力の可能性について、また帰国者受け入れの問題と、在外の日本人教会との連携について、そのあり方を模索する。
P9	環 境	住田 裕	神の創造物である地球環境が、人間の罪ゆえに破壊されつつある現状を直視し、教会としてなすべきこと、発言すべきことについて考え提言する
P10	社会・平和	荒川雅夫	2000 年沖縄宣言の「和解の福音」を受け止め、社会が抱えている問題を把握し、キリスト者としての社会的責任について考える。
P11	共 生	阿部信夫	障害者問題、老人問題、その他社会福祉に関する問題を整理し、これらの問題について、教会の協力と働きか推進の可能性を模索する。
P12	こども	錦織 寛	幼少年をとりまく環境と幼少年の健全な成長、また教会学校という形態の評価と展望について意見交換し、この問題についての教会のあり方、協力のあり方、推進の可能性を模索する。
P13	ファミリー ミニストリー	八木橋みどり	家族、特に夫婦の問題、クリスチャン家庭のあり方について、人間関係という角度から、聖書が現代社会に問いかけるメッセージを考え、この問題の推進のために、協力の可能性を探る。
P14	宣教における 女性の働き	丸山園子	教会における女性の位置づけについて考察し、提言する。
P15	青 年	三橋与志哉	青少年をとりまく現状を知り、その現状を踏まえて、教会が何ができるか、また青年問題についてどのような協力が可能かを考える。青少年大会を開催する。

※ 「P 1」、「P 2」は事前のプロジェクトで参加、申込みはできません。

コード	記号	タイトル ～サブタイトル	内容説明	担当者	担当団体
2201	分1	すぐに役立つ話し方 ～声とことばのレベルアップ	説教、司会、スピーチなどで使う道具である声とことばのレベルアップのための講座です。	関根弘興	太平洋放送協会 (PBA)
2202	分2	ディアスポラ宣教協力 ～神さまの視点から見直そう	グローバル化の時代に沿った内外連携、宣教協力のあり方について考えます。	永井敏夫	ディアスポラ宣教協力プロジェクト
2203	分3	小さなエコ～クリスチャンとして実践できること	環境問題について考え、今何ができるかを一緒に探って行きます。	住田裕	環境プロジェクト
2204	分4	心病む人へのアプローチ ～医療、伝道の両側面から	心を病むことと信仰の関係をとらえ、教会がこの問題にどのように対応できるかを考えます。	笹岡靖	聖書と精神医療研究会
2205	分5	高齢者介護と家族 ～教会のミッションと隣人愛の実践	福祉の面からミッションの概念を確認し、家族へのケアにどう取り組むかを考えます。	佐々木炎	東京基督教大学
2206	分6	ホームスクール・チャーチスクール～今、子どもの成長のために	教育現場の現状を知り、子どもたちの成長のために何ができるかを考えます。	杉本玲子	町田クリスチャンセンター
2207	分7	世界の子どもたち ～神と人に愛されていることを知らせたい	世界の子どもの厳しい現実を知り、クリスチャンが子どものために何ができるかを考えます。	片山信彦	特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
2208	分8	エイズ、同性愛、性同一性障害の方々へ、神さまの愛と救いを！	HIVへの教会の取り組みの紹介、日本における具体的準備と予防策について学びます。	藤田桂子	JCM (Japan Creative Ministry)
2209	分9	賛美の過去・現在・未来 ～福音派の会衆賛美を考える	会衆賛美の意味を考えます。また福音讃美歌協会が検討している新曲も紹介します。	安藤能成	福音讃美歌協会
2210	分10	セクハラ問題への取り組み ～福音理解を深め、成熟した教会・教団へ	セクハラと福音理解の関係とは、また健全な成熟した教会とは何かを考えます。	竿代照夫	プログラム企画推進局
2211	分11	いのちありがとう ～いのち問題は発想の転換から	発想を転換して、いのちということを切り口にした前向きな伝道のあり方を探ります。	堀越暢治	いのちありがとうの会
2212	分12	三浦綾子と日本伝道 ～三浦作品の影響を再評価する	三浦作品が伝道において果たした役割と影響の大きさを再評価し、伝道のための鍵を探ります。	長谷川与志充	三浦綾子読書会
2213	分13	絵本の読み聞かせ ～聴く力を養うために	福音を伝え、信仰を継承するための一つの手段となり得る絵本の朗読について学びます。	正田眞次	学座 とうごまの葉の下
2214	分14	日本人の心に届く宣教の提言 ～葬儀の取り組みの実際	従来の福音宣教のあり方とはひと味違う、日本人の心に届く福音の提示とは？	西岡義行	東京ミッション研究所
2215	分15	生き生き聖研 ～発掘、発見、発表	聖研は聖書と手引きさえあればどこでもできます。その方法を、実習を交えて紹介します。	内山茂生	聖書を読む会
2216	分16	異端・カルト宗教 ～現状と対策を考える	社会問題となっている異端や新しいカルト宗教についてどのように対応するかを考えます。	小菅剛	日本イエス・キリスト教団
2217	分17	心の時代と牧会 ～苦悩する牧会者と共に	心の問題や傷を抱えた方々について、また牧会者自身のメンタルケアについて考えます。	森 直樹	牧会塾
2218	分18	日本宣教の突破口 ～ヒルマン監督のケース	今までにない拡がりを見せたヒルマン監督のケースから何を学ぶことができるかを考えます。	赤松清	新生宣教団
2219	分19	札幌バンド軌跡ツアー ～ゆかりの地を訪ねて(有料)	有料の観光バス・ツアーです。定員になり次第しめ切ります。(料金:2,500円)	八尋勝	開催地委員長
2220	分20	世界宣教再考 ～主が求められておられる世界宣教とは	宣教師の報告を聞き、今自分にできる宣教の貢献について、神さまのみこころを探ります。	横山基生	海外宣教連絡協力会(JOMA)
2221	分21	21世紀の日本の伝道 ～JEMAの視点から	21世紀の伝道のあり方について、来日している宣教師の視点から問題提起をします。	Dale Little	JEMA
2231	シ1	アイヌ宣教 ～その課題と可能性について	アイヌ民族への宣教の課題と可能性について学び合います。	八尋勝	開催地委員会
2232	シ2	日韓教会の宣教協力 ～日韓宣教フォーラム実現へ向けて	韓国の教会との協力が急速に拡大していることを踏まえ、さらなる協力のあり方を探ります。	趙南洙	実行委員会
2233	シ3	世界に希望を～ワールドホープの実例から	困難の中にいる人々に、世界20数カ国で援助活動を行っている一つのケースを紹介しします	竿代照夫	実行委員会

コード	記号	タイトル ～サブタイトル	内容説明	担当者	担当団体
2301	分1	教会と福祉 ～福祉の担い手はだれ？	教会はどのような意味で福祉の担い手なのかを聖書的視点から考えます。	稲垣久和	東京基督教大学
2302	分2	子どもの心の傷と教会 ～今教会は何ができるのか	豊かな社会の一番の被害者である子どもの心について教会が何ができるかを考えます。	福井誠	お茶の水聖書学院
2303	分3	今こそ子どもたちと共に ～危機感なんて吹っ飛ばせ！	教会学校の危機の時代に、積極的に子ども伝道に取り組んで行く重要性について考えます。	錦織寛	日本ホーリネス教団
2304	分4	神の国の実現のために ～キングダム・コンソーシウム	この日本に神の国が実現するためにどのような協力ができるかを探ります。	田村治郎	日本国際飢餓対策機構
2305	分5	平和の種をまこう！ ～戦争・差別・和解・平和	歴史に学び、将来を展望し、平和をつくる者となるために何ができるかを考えます。	荒川雅夫	社会・平和プロジェクト
2306	分6	神のご計画とイスラエル ～この時代に生きる日本人の役割	将来が見えない時代に、イスラエルを切り口にして、主のみこころが何かを考えます。	高田篤美	B.F.P. Japan
2307	分7	心に届く説教 ～伝道と牧会の視点から	どうしたら心に届く説教を準備し、語るができるかを共に学び合います。	郷家一二三	日本ホーリネス教団
2308	分8	聖書的性教育 ～青少年伝道のためのアプステナンス教育	モラルが低下した時代に、聖書が語る性教育はどうあるべきか。実例を交えて学びます。	コール・デモテ	ファミリー・フォーラム・ジャパン
2309	分9	聖書と自然科学 ～ダーウインメガネをはずして	聖書と自然科学の関係、進化論の問題点、聖書の創造の世界観について学びます。	高橋清	クリエーション・リサーチジャパン
2310	分10	ビジネスパーソン宣教 ～ビジネスの世界でのクリスチャンの役割	ビジネスマンが福音宣教において果たすべき役割は何かを考え、協力のあり方を模索します。	市村和夫	インターナショナルVIPクラブ
2311	分11	信徒として教会に仕える ～輝け。目覚めよ。主の民よ！	信徒が証しと教会の建て上げのために召されていることを再確認します。	玉井邦美	日本同盟基督教団
2331	シ1	青年大会 ～「北で2009」	Be ambitious in Christ ～キリストにあつて大志を抱け～ 青年大会、1,500人を目指して	三橋与志哉	実行委員会
2332	シ2	21世紀の神学校の課題 ～ポスト・モダンと神学教育	ポスト・モダンの時代の神学教育の課題と展望について、ナレンドラ・ジョン師を囲んで考えます。	福井誠	実行委員会
2333	シ3	プロテスタント宣教150年の課題 ～『日本プロテスタント宣教150年』に学ぶ	記念出版された書籍を紹介し、プロテスタントの宣教の歴史を学びます。	山口陽一	実行委員会
2334	シ4	三浦綾子と共に歩んだ日々 ～三浦光世講演会	三浦綾子氏と共に生きた恵みの軌跡について夫の三浦光世氏が語ってくださいます。	石田敏則	実行委員会
2335	シ5	メディアと教会 ～キリスト教メディアの現状と可能性	さまざまなキリスト教メディアの現状と可能性についてまた教会との関わりについて考えます。	品川謙一	実行委員会
2336	シ6	教会における女性の役割 ～牧師夫人、母、リーダーとして	牧師夫人、母であり、ウェスレアン教団初の女性総理に選ばれた器の証しを伺います。	竿代照夫	実行委員会

危機の時代における宣教協力 ―もっと広く、もっと深く―
～宣教 150 年を迎える新しい日本と教会を拓くために～

I. 会議の前提

主イエス・キリストは宣教の始めに、「時は満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ 1:15) と人々を神の国へ招かれた。この招きは、現代の人々に対し、主の教会を通して広く深くなされることが求められている。そのためには、主の教会が神のみことばの真理に堅く立ち、聖霊によって一致協力する必要がある。この会議は、そのような福音信仰に立つ日本の教会が核となって企画運営し、会議のテーマ・会議の理念に賛同する者たちが参画して開催される。

II. 会議のテーマ・基本理念

前回の会議(2000 年 6 月)は、「和解の福音」をテーマに、教会が和解の使者であることを明らかにした。しかし、その後、日本および世界の情勢は変動し、日本宣教は決して楽観できる状況にない。むしろエレミヤが預言したような「危機の時代」(エレミヤ 14:19)に直面している。そのために、今回の会議は次世代を担う人々・青年の力を集め、先達から伝道の熱心と経験を学び、この時代を洞察する。

また、日本におけるプロテスタント宣教は、2009 年に 150 周年を迎える。その節目の年に、福音信仰に立つ日本の教会が「札幌バンド」緑の地に集まり、日本における伝道の過去を顧み、現在を分析し、将来を展望する。また現代人の魂の渇きを満たし、現代社会の問題を根本的に解決し変革するのは、キリストの福音であることを確信し、いかに生きるべきかを指し示す。

今回の会議は、これまでの 4 回の伝道会議の成果を継承しつつ、さらにプロテスタント宣教 150 年の歩みを通観し、新しい時代を拓くために、すでになされている教会協力・宣教協力をさらに広く、さらに深く進める。